제450호 1910. 7. 8.

(明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可) (日刊) 月曜及祭日の翌日休刊 明治四十三年七月八日 (金曜日) 第四百五十九號 (一)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西署西小門通(電話六六三) 京城新報社

旅順開放と滿鐵

旅順開放に關し滿鐵側の談を聞くに旅順開放は昨年來の問題なりしが愈今回實施さるゝこととなりたるは滿洲經營上の一進步と云ふべし然れども旅順は何處迄も軍港は軍港なるを以て鎭守府長官の覊束を離るゝ能はざるは止むを得ざることなり從つて水陸連絡の陸上設備に關しても最好なる位置を得べきや否や問題なり兎に角不十分ながら開放されたる今日は都督府なり滿鐵なり會社側なり何れにしても棧橋の架設埠頭の築造、海面の埋立海岸石垣の築造を初めとし鐵道との聯絡等開放に對する設備に着手せざるべからざるは無論なるも未だ政府より何等の命令なきを以て何れの手に依り之が經營を掌るべきや未定なり滿鐵側にても個人として之に關し種々意見を述べ西港より老虎尾半島の最狹部を掘鑿して一水道を開き自由に船舶の出入を爲さしむべしと杯云ひ居るものあるも此は遠き將來の事なるべし現在會社としては何等之に對する具體的の設計案なきも滿鐵會社の營業上に關連して此の開放に伴ふ水陸聯絡の設備を命せらるゝことゝならば利益問題は之を度外し進んで之が經營に當るべきは勿論なるも現狀に依れば大連の如く土地の主要部分が既に滿鐵の附屬地たるを以て十分なる設備を爲すを得るも軍港としては種々の制限あり旁々其經營が何れの手に歸するものとも然く大規模の設計に着手するものとも思はれず併し結局滿鐵に依りて經營さるべしとなり

韓國貿易の消長

昨年中に於ける韓國の外國貿易の槪況を聞くに輸出貿易は米及生牛二品の輸出を激減せるものあるに拘はらず小麥大小豆、棉花、牛皮、鑛類及銅鐵、肥料、人蔘各品の出增に由り結局增進を呈し一千六百二十四万八千八百八十八圓となり一昨年に比し二百十三萬五千五百七十八圓を增加したり輸入貿易は米豆暴落の結果韓人一般の購買力減縮せる一方に於て一昨年來日本に於る財界の變調に伴れ市場より資金の吸收せらるゝもの頗る多く爲めに金融の疏通を阻害し一般輸入品に對する需用を剷減せしめ綿糸諸織物及石炭の入減の如き則ち之か一端現に外ならず而して軌條及附屬品が一昨年中京仁京義其他の鐵道工事の段落により需用終熄せる結果著しく減じたる如き木材及板が一般經濟界の不況に伴れ民間に於る需用減退せるに加へて近時諸官衙の建築材料として統監府營林廠經營の鴨綠江沿岸材を使用するに至れる爲一層輸入減退に傾きたる如き將た又昨年初入着の豫定なりし米油か航海の都合上一昨年末に於て入着せる爲統計上昨年中に於ける石油輸入の減少を釀せる如き皆是れ昨年に於ける輸入減退の副因なるが總額三千六百六十四萬八千七百七十圓にして一昨年に比し四百三十七萬六千七百五十三圓を減少し輸出入合計二百二十四萬一千百七十五圓を減少せり

●平南鐵道工事現況

平南鐵道線路の延長は三十四哩四十六鎖にして四呎八吋を有する廣軌式單線にて平壤、鎭南浦間停車場設置の個所は鎭南浦異地洞岐陽太平平壤の五個所にして全線を五工區に分ち起工することゝなれり右工區の哩數は左の如し

第一區八哩、第二區六哩、第三區九哩第四區十哩四分の一第五區一哩

工區は平壤を起點とし鎭南浦第五區の工事は隆熙三年九月二十五日大倉組の手に於て起工せられ現下停車場及附屬建築物の地均し工事既に大半を了へ且つ第五區一哩線路の盛土工事も本年六月三十日までに竣工したる筈なり然して當區の工事に屬する點數以停車場敷地小丘の功取り本線の盛土等にして一万九千二百坪を有す而かも可成丈速成を期せんが爲め人夫を增加し豫定の期日迄に竣工せしむる企劃なるが四區は異地洞停車場を通過して三區の境界に至る間十哩四分の一の延長工事にして本年三月一日起工九月中竣工の見込なりと

●全南道の種苗配付

全羅南道にては今回地方費より數百圓を支出し桑樹黑松の苗木を購入し尙ほ種籾は勸業模範場及光州種苗場より又蠶種は光州種苗場及大韓勸業株式會社より寄贈を受け管內篤農家に對し夫れ〳〵配付せりと

●鎭南浦の築港工事

鎭南浦築港の計畫は五箇年繼續事業にして昨年二月を以て起工したるが今其槪況を聞くに

▲地質調査 昨年二月十日地質調査の爲め始めて地盤の試錐調査に着手せし以來六十一點の試錐を爲し本年三月五日全部の調査を了れり試錐の結果に依れば地盤以下五十尺乃至百尺を下るに非らざれば硬層地盤に達せず

▲潮止築堤工事 は單式閘門船渠繫船の岸壁を築造する爲め昨年六月十六日請負に付し築堤工事に着手せり即ち居留地の東部市區と飛澄島とに灣入せる平潟地西北の二面を締切り外水に界せしむるの工事にして堤防の巾平均十二尺高さ二十四尺延長五百二十間とす客年中竣工の豫定なりしも風浪其他に妨げられ一時中止の姿なりしが本年三月七日直營工事に付し再び殘工に着手し五月二十日迄でに竣工したり

▲石堤工事 は昨年九月十六日の起工に係り年內に工事完了の豫定なりしに是又風浪等に障碍せられ未だ竣工を告げずと雖も近々工事も進捗せしむべき豫定なり

▲地均工事 は卷上機械二臺を据付セメント倉庫一棟破礫の假置場並に附帶棧橋の設備等に要する地均工事の爲め本年三月二十七日より起工したり

●釜山近海去月漁況

去る四月以來巨濟島方面にて鯖の大漁を見たる巾着網及揚繰網漁業者は六月に入りて荒天打ち續きたる爲め出漁するを得ず徒らに天候の恢復を待ちつゝ遂に漁期を經過し六月中旬頃までに何れも漁場を引き揚げたり鯖流網及天秤釣漁船は依然從業せるも格別の漁獲なしと云ふ最も流網は五月中相當の漁獲ありて已に一艘平均約六百圓を得たる由なれども天秤釣に至りては漁期の初めより漁獲少なく殊に本年は四月下旬來巨濟島方面に於ける巾着網及揚繰網等の漁獲多かりし結果鯖の魚價例年に比し最初より著しく下落したる爲め其成蹟良好なるものにして漸く一万五千尾價格三百五十圓內外の水揚を得たりと云ふ鯖の來遊濃厚にして巾着網及揚繰網等各々相當の漁獲を觀たるに獨り天秤釣漁船のみ不漁なるに就ては種々原因あるべきも目下鯖の餌料として最も嗜好せる鰮の來遊多きは確かに其原因の重なるものなり釜山以北に於ける鰮漁業は去る四月漁期に入りてより大鰮の漁獲あるのみにて煎子として製造するを得ず皆〆粕及び干鰯に製したるも六月七八日に至り急に小鰮の來游ありて一夜間能く五六石を漁し縮緬煎子三四十〆を製し得たり小鰮の漁獲今尙多しと云ふ鯛延繩漁船及び打瀨網漁船は目下釜山に根據するもの少く多く欲知島及蘆臺島方面に集台し時々當地に歸來す去月來此等漁船の作業に適する小潮時に際し兎角天候惡しく爲めに漁獲は[illegible]と云ふ

文苑

▲春畝公詩存抜萃

征淸(二十七年)

大風吹起渤海浪。朝鮮八道戰塵[illegible]
可憐小邦若外侵。千里山河無城[illegible]
日東天子愛蒼生。直發三軍進大[illegible]
君不聞海洋島外沈敵艦。又不聞平[illegible]
城頭塵萬兵。潘陽胡族彼何爲。敢退
臨張抗王師。早聽燕京樹降幡。長使
東洋致緝熙。獅舌訊牌久苦餓。驚目
耽々睹覦機。割斷大事鐵與火。我武
我文揚國威。

◎新刊紹介

▲新半島(六卷二號) 口繪の衣冠束帶せる故兒玉大將の寫眞は珍とすべく記事の多くは所謂餅を餅屋に搗かせたるものなれば讀むべきもの多し(京城同社發行二十五錢)

▲富の日本(二卷六號) 大隈伯の『社會各方面に大關係ある將來の大問題』以下有益なる記事多し(東京芝同社十三錢)

▲成功(七月號東京本郷弓町同社十六錢五厘)

▲滿韓之實業(五十五號七月一日同社發行二十五錢)

▲東洋時報(一四一號六月二十日東洋協會發行五十錢)

▲實業之世界(七卷十三號七月一日東京芝區同社發行十二錢)

▲日韓史蹟(古柳網太郎著) 六月二十八日に發行して七月一日には再版を出したり京城の出版界に於て罕れに見る出來事なり寧ろ奇蹟に近しといふべし以て此の書の内容を窺ふに足らん(京城本町三丁目町田文林堂一圓)

講談 大岡政談 越後傳吉

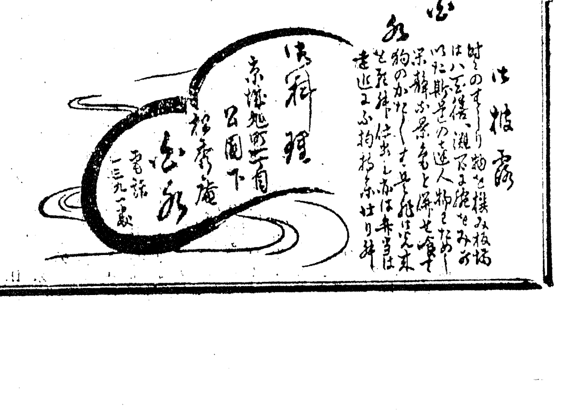
旭堂南陵講

第十五回

四『番頭どん、これは萬人に一人といふ男ぢやな 安『ハイ 四『アヽ豪いもんぢや氣に入ました……傳吉どん、實はその金は私が臼の中に放り込んだんぢや 傳『この馬鹿野郎 安『コレ〳〵、主人を捕へて馬鹿野郎とは酷い 傳『なんちうことをするだ、金と米と一緒に搗いて何うするんだい 四『この金を默つてれ前が懐中に突込むやうな人間なれば僞せ正直だと思つて、私が故意とれ前の心を試すために投込だのだ 傳『アレヤア旦那どん何を云はつしやるか、こんな金を乃公の臼の中へ放り込んでこの金默つて使ふ人があるもんでがす



四『江戸にそんな者がございますか 四『江戸に澤山あるのだ大概そんな者ばかりだ 傳『アレそんな者は人間でねへだ、己れの身に覺のねへ金は元の人へ戻すのは當然でございます何だい珍らしさうに乃公を試さうなんて何をするだい 四『ヤレ感心な者ぢやこの二歩は改めてれ前に上げる 傳『乃公貰ふ譯はねへだ、正直は人の當然でございます人間といふものは正直に御奉公してれ給金貰へば夫で宜いだろうんなもの貰ふ譯はねへでがす、要らねへ 四『だつて出した金は引くことは出來ぬ 傳『勝手にさつしやい、何うしても取らぬ 四『安兵衛 安『ハイ 四『マアれ前に預けとく彼れの預り金があるか 安『あるかと仰しやつて彼れの給金は一文も取りませんや、錢を使はぬといつてあんな使はぬ者を見たことがありません、飯炊と米搗の給金チャンと一緒にして私に預つて置いて下さいと斯ういひますから預つて居ります、彼奴が紙屑買つた金をやらうといつてもそんな金は要らねへと何しても取ませんそれを給金の中へ默つて私が入れてあります 四『さうか 安『ハイ宜しうござります 四『あゝいふ人間に火縄をさして下さい油番をさせたら乾度過ちのないやうにするから、モウ飯を炊したり米を搗いたりさせないで、二階を廻らして下さい 安『左樣でございますか、それではさういふことにいたしませうこれから傳吉が火廻番といふことになりましたこの炭火油一切を引受ける役が女郎屋さんでは餘程良い役で、その代りこれは不寢番といふことをする、夜分寢ないでチャンと番をせにやアなりませんご三浦屋邊で焚く炭火油などゝいふものは大層なもの譬へば一晩に五升の油が要ると、こいつを番をする奴は八升といひ立る、三升は金にして已れが酒でも飲んでしまふ、油を飲むとはエライ奴だ、炭が十俵要るもんなら十五俵といひ立て、五俵だけは已れの懐中へ入れるといふ、餘程良い餘祿のあるものです、大家の旦那になれば若い者が皆さういふ惡い事をして居るのを知つて居ながら默つてる、此惡い事をするのが旦那の眼に留つて恐圖々々いふやうになつたら甚所の家の身代は倒產だといひます、三井の大家で大工さんが入つてトンカン〳〵忍返を作へて居るのを旦那が覽て 旦『れ前等はそらア内にするのか 大『へイ忍返を作へて居ります 旦『忍返しとは一體何だ 大『泥棒が入らぬ用心に作へて置きます、旦那は笑つて 旦『へゝア泥棒は外からも入るか』と斯ういひなすつた話しもある、家に多勢の泥棒を飼つて置てあることはチャンと御承知、大家の旦那なんてへ者はそのくらゐな胸のものです、矢張り三浦屋さんがその通り、根が吉原に奉公する人間、何うせ碌な者はない、なか〳〵正直に一晩に油が何ぼ要りましたからといひ立てる者はございません、皆の嚙んだとでも錢にしやう〳〵といふ量見ばかり、安兵衛に話をして、ポンと前の飯炊と米搗は別に他の者にさせ、傳吉を炭油不寢番といふ事にしました、これは澤山貰ひがある、馬鹿々々しいほど貰ひがある役です



東京電報

▲**前田侯邸行幸** 天皇陛下は明八日皇后陛下は九日東宮同妃兩殿下は十日孰れも前田侯爵邸へ行幸啓あらせらる(七日)

▲**統監來任決定** 寺内統監は來る十三日東京出發夫人同伴赴任の途に就く事に決定せり

▲**韓國鐵道獨立** 韓國鐵道獨立の件昨日内閣會議に提出せられたり(同上)

▲**韓皇儲の巡遊** 韓皇儲は來る十三日新橋發山陰山陽巡遊の途に上り來月六日歸京せらる(同上)

▲**官制現狀維持** 統監府官制近く改正さるべしとの説あるも時局を解決し統監府の根本的組織を改正する迄は現狀維持なりと確聞す

▲**都督府廢止説** 政府は來るべき或る時期に於て關東都督府を廢止し其の事務は統監府に隷屬せしめ大島關東都督は中央政府の要職に就く事に内定せりと傳へらる

▲**海獸保護條約** 各領海における日露間の海獸保護條約は目下交渉中なるが露國は急速に締結を迫り來りたれば近々成立せらるべし

▲**臺灣海底電線** 内地臺灣間海底電線は本月中に竣成すべし

▲**日露協約内容** 浦鹽來電に曰く露國の其筋より達したる情報によれば今回締結せられたる日露新協約の内容は舊協約に比し範圍及び効力の擴張増進を示し極東に於ける兩國相互の領土保全既得權を支持し兩國の軍備犯人引渡の件等主なるものにて右は露都に於て既に一部發表せられたるものと思考せらる(同上)

▲**寺内統監送別會** 來る十二日は桂首相は寺内統監の爲めに送別會を開く(同上)

▲**高級武官交迭説** 陸軍高級武官[illegible](同上)

▲**鎭海灣の防備費** [illegible](同上)

紐育電報

獨立祭死傷者 去る四日米國獨立祭に就き[illegible]名火災三十八件ありたり但し例年に比すれば損害高は少數なりと(七日)

日露協約と清國

清國政府は初め日露新協約を以て滿洲に於ける清國の主權に影響を及ぼす者ならんと誤信し多少恐怖の念を懷きたりしが其の後同協約の内容傳はるに及び其の誤解を一掃し且つ兩國政府は依然極東の現狀維持を熱望し清國の主權を擁護して將來東亞紛亂の基を除去せんとするに在るを了解し一般に滿足の意を以て同協約の成立を歡迎し居るが如し然れども中央政府に於ては未だ同協約に對する態度を明にするを欲せず靜くとも其の發表前日露兩國より之れが通告に接せん事を期待し居るが如く其他日清鐵道の技術上及び貸與の協定に就ては何等特別の注意を拂ひ居らずと云ふ

警備機關の配置

韓國政府の警備機關は今次日本政府に委托せられたるに就き其筋にては今後の新編成に付き立案中のところ今後愈々左の如く決定したる由にて公表するも差支へ無き旨憲兵隊司令部の明言ありたるを以て茲に掲載す

△憲兵部の機關
一憲兵司令部 一　一憲兵隊 十三
一憲兵分隊 七七　一憲兵分遣所 五二七

△警察機關
一警務總監部 一　一警務部 一三
一警察署 九七　一巡査駐在所 二三三

因に記す京城の警察署及駐在所は此の外なりとす

地方行政の革新

今回警察事務の委托せられたることを以て韓國行政上の改革は一段落を告げたる如く思惟するものあるも聞く所に依れば政府は本月末を以て統監府官制の大改正を行ふことに決し官制發表と同時に韓國の地方行政上に大改革を斷行する由なり

山縣副統監の談片

七日午前十一時山縣副統監を統監府に訪ふ[illegible]肥大なる體軀に[illegible]勳一等旭日大綬章を着け[illegible]外武官と對談中なりしが[illegible]して左の如く語らる[illegible]し只今各部室を巡視[illegible]鮮に來ての感想です[illegible]後は訪問客に接する[illegible]事務も今迄切れ切れ[illegible]つたのを引きまとめて[illegible]で却々多忙で未だ取[illegible]感想もありません朝[illegible]精通して居らるゝか[illegible]らいたい思つて居り[illegible]任ですか明確な所は判りませんが今の處[illegible]京出發さるゝ豫定に[illegible]樣今度は夫人も同伴[illegible]多分三箇月位は滯在[illegible]つて居ります云々

●**江原道市場の軋轢** 江原道江陵郡新里面注文津住民は一昨冬以來市場開設を熱望し種々運動の結果其筋の許可を得て[illegible]市場を開設したり然るに[illegible]對を唱へたる隣面[illegible]市場の關係商人間と將來多少の軋轢は免れざるべしと雖も新里面長以下[illegible]非常に憂慮し是を[illegible]を重ね兩市場商人間[illegible]夫れ〳〵方法を講じ[illegible]風頗る荒く中々困難[illegible]

●**金融組合業務擴張** 金融組合にては[illegible]せんが爲め貯蓄預金[illegible]取扱開始の意あり目下[illegible]擴張に關し種々準備[illegible]合は[illegible]設日尚ほ淺く未だ整頓を缺く箇所も鮮からざるにより擴張業務は最古整理の分より順次施行さるゝ筈なりと

●**榮山浦地方の水害** 六日其の筋に達したる報道によれば全羅南道榮山浦地方の水害甚しく六日中に流失家屋約五十破壊家屋二十四其他數百戸は何れも浸水し橋梁二十流失道路は何れも破壊され死傷者及損害高數の見込なりと

●**松井若林兩氏別會** 國分、世古、中川三氏の發起に係る松井若林兩氏の送別會は來る九日午後六時より花月樓に於て開催の筈なるが出席者は憲兵隊司令部及警務總監部等の各高等官等なりと

●**土地調査法と意見** 農商工部は曩に土地調査局より廻付を受けたる土地調査法案に就き山林局農務局等の關係局員を集め審議を凝らし其結果同部の意見を付して一兩日中に廻付すべしと云ふ

●**韓人府郡主事現在** 各道府郡に任用せる韓人主事の現在數は六百六十二府郡に對し三百二十八人にして二郡に一人の割合なり而して其半數は孰れも日語を解し日本人主事の補助任務に當り居れりと云ふ

●**内部の事務打合會** 内部にては宇佐美次官七日朝登廳したるを以て各課の主任者次官室に集合して今後の執務上に就き打合せ會議を開きたりと云ふ

●**北韓貿易調査着手** 既報の如く統監府の計畫貿易調査は鈴木文學士に囑託せるが同氏は八日釜山[illegible]に目的地に向ふべしと

●**積城汶山間の交通** [illegible]積城郡東面及び坡州郡坡平[illegible]も增水して汶山積城間[illegible]杜絶したり

●**秣倉庫浸潤と損害** [illegible]雨の爲め龍山なる軍司令[illegible]置しある秣一千餘貫目を[illegible]高約二百餘圓なりと

●**山縣副統監の登廳** [illegible]七日始めて登廳し各員に[illegible]り夫より各室を廻り各職[illegible]て精細に視察したりと

●**京城分隊事務開始** [illegible]城第一、第二分隊は愈々[illegible]務を開始したり

●●**村田技師の出發** 農商工部技師村[illegible]鑛業視察の爲め七日南大門發汽車にて出發したるが趙農相、木內次官等數百名の見送り人あり

百三十支店の成績

資本金五百萬圓
拂込額三百二十一万八千七百余圓
[illegible]四百圓
京城支店支配人　菅原大太郎
同　營業主任　上杉松太郎

京城支店に於け　本年上半期の純益金は一萬八千三百七十五圓五十錢で前期のそれに比して二千三百余圓の増加を示した、例年上半期の成績は下半期より劣るのであるが、今期は其例を破つたが、別に異つた理由があるでは無い要するに邦人の發展に伴ひ商事の繁を來たし、資本の運轉額が嵩まつたといふに過ぎないらしい、預金利子は當座八厘、小口當座一錢、定期預金は一箇年五厘五毛、六箇月五厘に引下げたが夫れでも預金は減らぬ、現在の預金約百万圓、貸出も似たものである、と上杉主任はいふ、此の期の配當は八朱、

●●●●●**渡邊事務官歸任** 曩きに木內次官の電命に依りて東上したる農商工部水產局の渡邊事務官は六日歸任したり

●●●●●**戸叶薫雄氏歸京** 朝鮮日報社長戸叶薫雄氏は八日午前八時歸京すべしと

●●●●●**藤原書記官歸任** 母堂の病氣の爲め歸鄉中の藤原度支部書記官は六日歸任

●**故岩田技師葬儀** 故度支部建築所技師岩田五月滿氏の葬儀は七日午後三時西小門外關稅局運動場に於て執行したり會葬者無慮三百餘名各官衙團體及受負師連よりの贈花等頗る多數なりき

東拓本年の漁業

東拓漁場の視察を畢へ近く歸來せる同水產課龍江主任の談に據れば本年は近年稀なる不漁とは同地在住漁夫の語る處なるが其主なる原因は潮流の加減にて海水の冷却せる他屢々河水暴漲より發する海水の黄濁等にて魚族は遠く逸して岸に近づかりしに因る我社本年の經營は固より試驗的といひ且つは初瀬踏みの事とて經營に關する萬般の設備も極て簡易を旨としたりしが果然實際着手するに當りてや意外の障礙に逢着して當初の計畫を改更せし事一再にして止まらず殊に適當網場の選定には最も苦心を重ねたる處なりし然するに同海面の魚族は頗る豐富なるも世人の期待せし如き程にもあらざるが如し何分盛漁期僅に二箇月にして試驗期間の短かりしは奈何にも遺憾なりしも先づ今後大體の方針は決定する事を得たり本年の漁船數は約二百隻に上りしが内二百五十隻は漁期終ると同時に歸航し殘五十隻は越年の覺悟にて間漁に從事する筈なり今や普通盛漁期は過ぎたるも太刀魚の漁期なるに以上の結果極めて不成績なり秋期鰕漁は如何あるべき是は越年者の成績に俟たざるべからず尚ほ漁獲物始末に就き漁夫及仲買伊佐奈商會の間に一時圓滿を缺きし顛末に就ては會社は豫て漁獲物の始末に對し深く顧念の末同伊佐奈商會をして一手仲買の衝に當らしめ一面同商會は之を諒とし漁期の初に當りグチ細大打混し一尾六厘と評價したりしが中にも狡猾なる漁夫は大粒を他に販き單に細小分をのみ商會に持込みし等に紛起り一時紛擾を來せしも今や相互意志疏通し圓滿なる解決を告ぐるを得たり云々

合併後の京城民團

(古城民長の談話)

京龍合併後に於ける京城民團の施設に就て古城民長は左の如く語れり(七日)

▲引繼大略終了○○○○○ 昨六日各課の主任を龍山民役所へ出張書類に依り大略引繼を受けたるが尚は今明兩日間に會計內容等を調查し一切の引繼ぎを了する筈なり

▲合併後の民會○○○○○ 現在民團議員は缺員等ある爲め京城十八人龍山十五人都合三十三人なるが來る十月七日の總選擧期迄は龍山の現在議員全部を其の儘京城民團議員に加へる事に決したり又た合併後の京城民團議長會計檢查員は京城民團の現役員を以て之れに當て別に改選せず

▲民團助役問題○○○○○ 曩に京龍合併に關する兩民團の協議會に於て合併後は二名の助役を置く事に協定したるも當分は必要なかるべく從つて今回開會の民會には峯尾晉三郎一名を助役に推薦し承認を得る筈なり

▲合併と豫算○○○○○ 合併實施の期日即ち七月五日後の龍山豫算は追加豫算として京城民團豫算に計上す又龍山徵稅規則授業料其の他に關する收入規定は年度變りまで從來の龍山民團制定規則を龍山に適用す

▲合併後の初民會○○○○○ 來る十日合併後の第一回民會を開き一豫算追加の件二諸規則改正の件三助役峯尾晉三郎推薦の件四條龍山民長會計役に慰勞金贈與の件五京城民團役所龍山出張所新設の件を附議す

松崎博士の用務

目下來京中なる帝國大學教授法學博士松崎藏之介氏は本邦殖民學者の一人として曩に東洋拓殖會社設立の事にも與りたる次第なるが今回當地に來られたるは政府の內命を受け今後の移民事業に付調查を遂ぐる爲なりと云ふ

●**龍山豫算債權債務** 龍山民團廢止の結果京城民團に引繼ぐべき豫算及該民團の有せし債權債務額は左の如しと

歳入經常部		
第一款	居留民團稅	三九、三六八、五一〇
第二款	使用及手數料	四、一四四、〇五〇
第三款	財產收入	三〇一、八〇〇
第四款	雜收入	七、一四四、二九〇
歳入臨時部		
第一款	寄附金	一、〇〇〇、〇〇〇
歳出經常部		
第一款	役所費	三、一三八、四六〇
第二款	會議費	六九九、四〇〇
第三款	土木費	二、六二七、七四〇
第四款	敎育費	二、七九六、二七八
第五款	衛生費	七、八三三、七二〇
第六款	救助費	二四七、〇〇〇
第七款	警備費	一、一八六、九〇〇
第八款	借地料	一、九八五、七二〇
第九款	基本財產收入	一、一四二、〇〇〇
第十款	接待費	五五一、九〇〇
第十一款	雜支出	二二七、六〇〇
第十二款	豫備費	一六、二九、六〇〇
歳出臨時部		
第一款	居留民團債	四、三〇三、一五〇
第二款	敎育費	一一、〇〇〇
第三款	警備費	一三〇、〇〇〇
第四款	充用金	五三五、三六八

則ち歳入豫算額は收入濟額も控除せるもの又歳出豫算額は支出濟額を控除せるものゝ殘額を計上せるものにして京城民團は之を追加豫算として民會に附議する筈なり尚科目の同一なるものは當該科目に編入し其他は其儘存置すべしといふ更に又龍山民團の債權債務の現在額を聞くに

債權に屬するもの
龍山醫院へ貸付金　一、四四〇、〇〇〇
債務に屬するもの
民團債　二六、〇〇〇、〇〇〇
一時借入金　三、七二二、八一四

其他土地營造物等は之を目錄に明記して受授を了せりと云ふ

●**京城幼稚園の現況** 京城民團立幼稚園は現に南山幼稚園に百五十名南大門小學校附屬の夫れに七十餘名の多數を收容せるが元來幼稚園の目的は保姆的教養を主とするものにして修學は其主眼に非ず故に修身書の口授又は技藝等の教習に力むるも徒らに兒童の頭腦を惱ますのみなれば可成自然物に接觸せしめて不知不識の間に啓發するを可とす之を爲す者可成變化多きものを擇び娛樂を擴まゝにせしむべきに現幼稚園は之を閑却せるが如ければ大に改良を要すと某父兄は語れり

●**鎭南浦貿易と金融** 日本人居留民四千の貿易港としては比較的其取引額の多き他に類例なく多少の支那人なきに非らずと雖も貿易に關する商權は日本人の手裡に在り之れを隆熙元年に於ける貿易額に徴するに五百八十七萬三千圓余の內支那人の取扱に屬する分は約二十七万にして其廿分の一に達せず韓國商人は直接外國貿易を爲さず其取扱皆無なり而も其輸出入の多きはジャンク貿易なるを以て銀行を利用するの途なき狀態なれば特に韓人の金融機關として設けられたる農工銀行の取扱あるのみなりと云ふ

●**岡喜七郎氏の出發** 事務引繼の爲め來京中なりし岡鳥取縣知事は七日午前九時南大門發列車にて東上したり停車場には石塚、倉富、木内、小宮、宇佐美、俵、國分の各參與官國分檢事長、池田管理局長、菊池商工局長、松井、若林兩氏、中村地方裁判所長、中川檢事長、三浦理事官軍よりは大久保司令官代理明石憲兵司令官、中形中佐並に市原韓銀總裁、菅原百三十支店長、各大臣、新聞記者其他文武官民五百餘名見送り盛んなりき因に同氏は一旦上京の後十四日頃赴任すべしと

●**釜山港貨物の集散** 六月中釜山韓國興業會社倉庫部に於て取扱ひたる前月繰越高、出、入庫高、殘高及び其金額を擧ぐれば左の如し

前月繰越高	六万三千八百八十四個	二十五萬七千百六十一圓十一錢
出庫高	二萬四千七百九十個	九万五千二百三十一圓七十錢
入庫高	九千四百四十四個	五萬二千八百八十一圓十錢
殘高	四萬八千五百三十九個	三十一萬四千八百十圓五十一錢

●**大久保前龍山民長** 前龍山民長大久保到氏の進退に就ては種々取沙汰するものあれど同氏は曩きに部長の現職を捨てゝ龍山民長として來任し間も無く京龍合併と同時に解職となりたるものにて三浦理事官古城民長等も氏の境遇に對し頗る同情を表し居れば此際相當の慰勞金を與へ或る時機に於て新民團の助役若しくは其他の職に就かしむる筈なりと云ふ

●**漢江增水渡船中止** 六日夜來の豪雨の爲め龍山の櫻田町三坂通り二丁目の崖は崩壞し漢江增水の爲め麻浦の船橋は取除かれ七日午前十一時より西氷庫の渡船を中止したり

●**山根囑托醫の講話** 山根衛生局囑托は十日午後二時淑明女學校に於て催さるべき日韓婦人會の請托により一場の講話を爲すべしと

●**松井茂氏の出發期** 前内部警務局長松井茂氏は來る十一日出發歸東する筈なりと云ふ

公人私人

▲服部米次郎(憲兵少佐)六日入京浦尾
▲湯淺秀富(休職警視)同上巴城館へ
▲熊井駒三郎(福岡縣港務醫官)山本へ
▲伊藤票三郎(農商工部事務官)佐藤へ
▲北原彦次郎(濟州農銀頭取)同上
▲安武千代吉(辯護士)同上天眞樓へ
▲日榮賢治(憲兵大尉)六日天安へ

龍山通信

(七日 支局報)

▲前龍山民團役所主席書記西郷哲夫氏以下六名は七日より京城民團に出勤し龍山出張所主任金本一作氏以下四名は出張所に出勤執務し居れり
▲龍山民團役所時代の收稅の民團吏員之れを取扱ひ居りしも自今京城本所と命じ百三十銀行員出張し收稅することゝなりたり隨て納稅は銀行の營業時間中ならでは受附けずといふ
▲京城民團龍山出張所區域內の土地臺帳は京城本所に備附することゝなれり
▲漢江出水せりなど大袈裟に騷ぎ立つる勿れ別に騷ぐ程のことは無し

▲京城手形交換高▼

	枚數	金高
七月七日	五一四	一〇、七六五、五五三

▲治外法權▼

新任宇佐美內部次官の部下に對する訓示は中々要領を得て居る、曰く各員の經驗を有効に應用する事、曰く謹直勵精に事務を採る事、曰く繁文縟禮を避くる事、曰く人民に接するに親切なるべき事、此四箇條が實行されたら宇佐美は內部の次官として及第する▲元第一銀行關係の人達が叙勳された、記者はコンナ事は無くもがなと思へど、俗世は別だからと云へばナンニも云はぬ、只ソレにしては佐々木、市原のは勿論其他の人々に贈つた勳章が官吏のソレに比して等級の低いのは矢張り官尊民卑か▲副統監山縣の團體が大きいのを見て韓帝が歎賞したとはホントか知ら、夫に就て思出したは例の肥滿者倶樂部だ、ドウか山縣に會長たることを承諾させて一日も早く組織に着手させたい▲先夜の米獨立祭園遊會で獨逸總領事クリユゲルが市原韓銀を捉らへ相撲の講釋をして居た、ソコへ記者が顏を出したクリユゲル講釋を止めて相撲の身振を始めたソウしてれ互に力士にならうヂヤないかと云出した▲晦溢博士松崎がヤッテ來た彼は東拓會社立案者の一人だ、今度彼が來たのは例の移民集中に關する調査の爲だソウだが晦溢的觀察で良く判かればよいが▲現鎭南浦民長が辭するに付いて同地民會は全會一致で原田錄策を後釜に推擧したソウだ、聞くところに因れば原田は若し民長になつたら無報酬無手當で働くと云つてるソウだ、コー云ふ公共心の厚い人物を有する鎭南浦民團は幸福な事だ▲京龍の合併も愈々出來た、サテ之からの民長はドウなるかね、大久保が止めたら古城も止めるが當然ダロウ、一ッ前記原田の樣な公共心の厚い人物を得たい者だ

●**廣梁灣の鹽田工事** [illegible]らしむべきは疑を容れ[illegible]鹽田地は工事着手時に[illegible]月度支部財源調査局に於て同地に假事務所を設置し次で鹽田の築造工事に着[illegible]人戸數は五百五戸人口五千七百七十五人を算するに至れり(五月末調査)然し[illegible]

●**叙任辭令**
左の通り辭令あり
内部書記官　平渡信
陸叙奏任官二等　通信書記官　竹綱六次郎
同　技師　吉武正八
同　鹽野能通
同　橋本秀平
同　渡邊業夫
陸叙奏任官三等　土地調査局書記官　宮田勇
同　市川儀清
(六月三十日附)
土地調査局書記官　佐竹義準
總裁官房秘書課長を命ず(七月五日附)　澤富[illegible]郎
任農林學校教授叙奏任官四等

●**天氣豫報** (自七日午後六時至八日午後六時)
南東風晏後晴
昨七日(華氏) 最高温度 七三、二　最低温度 六六、六

●廣梁灣の鹽田工事 [illegible]しひべきは疑を容れ[illegible]鹽田地は工事着手時は[illegible]に稱し戸數僅かに二十[illegible]利にして農業の餘暇魚[illegible]生計を營みしが昨年五月度支部臨時財源調査局に於て同地に假事務所を設置し次で鹽田の築造工事に着手せし以來日、淸、韓勞働者商人等の同地に蝟集する者日に繁く土地の開墾家屋の建築頻りに起り現時在住日、淸、韓人戸數は五百五戸人口五千七百七十五人を算するに至れり（五月末調査）然して工事の概要は潮止堤防全延長三百五十七町五十七間を築き內部の面積三百三十四万百十五坪を設くるにありと



何方を向いた美しい
▽顏の表情は右に限る
▽顏の秋波は左の眼に

「何方を向いたが美しからふ」かとは男女に拘はらず寫眞などを撮らせる時に必ず起る疑問だ、考へ抱ねた結果眞正面に撮りになるが何んとなく趣味に缺けて居る如に見へて面白くないのみか顏が平たく寫る、彼の舞臺に顏や姿を賣る俳優なんどは常に此れに就いて研究して居る、俳優仲間では正面を向いてトンと極ることを正面を切ると申しますが此れがナカナカ至難しく極りかねるものである、其の場面の許す限り目立たない程度に於て身體を斜に正面を向くとか或は顏丈も斜に向けると云ふ樣にして居る、而して其の顏は右にでも左にでも斜めに即ち下手に向いて居るが可いか、又は左斜めに即ち上手に向いて居るが可いかと云ふに俳優として舞臺に立つ以上其の都合上自由の利かぬことも多いが、併し若し都合が着くとしたら右斜に向いて居る方が優だと云ふ。[illegible]人の顏は右の方から見た方が美しく見える[illegible]左右に割つて見ますと[illegible]元來左右とも同じに出來て居る樣ではあらうが如何ぞふものか左半分が形が宜く出來て居る、中には隨分例外のものもあつて一概には云へぬが多くは必然らずで、其の差違が極僅少だから大抵氣がつきませんけれど仔細に觀察すると何うしても左の方が美しい、彼等が舞臺に立つ場合決して全然の素顏と云ふ譯ではないが[illegible]とでは出來上りに可否があるから成可く左半面を客の方へ向ける樣にする、併し此れと反對に醜惡い顏、恐ろしい顏を見せるには右を使ふので或る人の顏の筋肉は其の運動が右半面の方が自由で表情に都合がよい、と云つた所で戀の表情などは右では都合が惡い、矢つ張り左の眼の秋波と云ふ奴が宜いことは更めて申すまでもなからう、適宜に顏面筋を働かせると云ふことは顏貌の美を保つ上に於て必要である故に如何なる美人と雖も顏面には餘り惚れられる人がないが其は[illegible]時には筋肉の働きが休止して居るからである、幵は現に[illegible]寫眞を撮りになる際には何うかして其の[illegible]態度を極められ[illegible]

韓人の歸着
自殺を遂げず　京城
▽怪しき言動なし

去月二十九日未明一韓人が鎌倉町江の島に於て「千秋の恨を呑みて自殺す」なる生意氣至極の遺書を殘し自殺を遂げんとしたるも遂げず鎌倉署の手に取押へられ嚴重取調べの結果東京神田橋外下宿昌平館[illegible]二三百圓の負債を生じ其の始末に窮したるより朝鮮一流の冥途の道件れに某子爵の擬定を附け覗ふたるも其の事明したる旨は六日の紙上に報道したるが其の主人公林泳煥（二八）は五日釜山を經て京城に歸着したりと聞く而して同人の擧動には別に何等怪しき節なかりしと

ドンブリ行らんとせし旨判明　淋しいけれど一人で

殺人教唆事件（一）
▽元羅南日本人會長以下

[illegible]外濠町三十七番地平民鏡城郡羅南初瀬通り土木建築請負業北野安次郎（三七）大阪市東區[illegible]服（三二）大阪市北區老松[illegible]九番地平民當時同所若[illegible]芳松（三七）大阪府西城郡[illegible]八番地平民當時同所米田[illegible]番地平民當時同所笠置町[illegible]爲職後藤定次郎（四〇）の內辰殿芳松定次郎に對する殺人豫備安次郎に對する教唆及辰殿に對する爆發物取締規則違犯事件は當控訴院に於て審理中なるが事の起りを尋ぬるに右安次郎は明治四十一年五月推選せられて咸鏡北道鏡城郡羅南在留日本人會長となり其在職中四十二年一月清津理事廳令違犯の行爲ありたるを以て當時の理事官より辭職諭示を受けたるも未だ其去就を決せざる際同業黒川初次郎外二名の有志者より他日再選する條件にて一時辭職の勸告を受しが安次郎も其意を了し一旦辭職を爲したるも其後再び日本人會長に選擧せられざるは畢竟黒川が友誼を無視したる結果に外ならずと思惟し又黒川は曩に安次郎の周旋に因り佐田精一郎なる者より借用したる金二千圓の債務返濟期日に關し安次郎は黒川の爲に債主に延期を求めたるも債主佐田は之を容ずして其請求を爲たることありしが黒川は此は安次郎が佐田をして該請求を爲さしめたる者と邪推し互に不諧の念を懷き居る際安次郎は昨年八月清津羅南間急施道路工事あるを聞知し同縣人中桐榮次郎を介して該工事請負の特命を得ん事を運動し榮次郎の情報に依り之が請負の特命を得らる可き物と思惟し之に要する石材の準備をも爲し其特命の下るを待ち居りたり然るに事是に反し該工事の請負は同年九月二三日頃公入札に付せらるゝ事となり安次郎及同業長尾巳之吉は黒川初次郎に對し該工事に付談合金の請求を爲したるも拒絶せられ而して入札の結果は遂に初次郎に落札し安次郎が豫期の目的は全然不能に歸したるより益々黒川に對する怨恨を重ね遂に同人を殺害せんと決意するに至れり

妻の方から離縁狀
▽不埒極まる韓婦人

京畿道楊州郡石積面三牌洞居馬興祥と云ふは昨年中或る人の周旋にて黄姓女（二四）と云ふを妻に貰ひ受け睦じく暮し居る內同年十一月中黄は無斷家出したるまゝ行衛不明となりしより興祥は血眼になりて行衛搜索中の所或る知人が黄姓女の姿を京城にて見たりと告げたるにぞ取るものも取り敢へず來城し百方搜索に手を盡したる白痴の一心に天も感應ましましけん西部積善坊司醞洞二十六統八戸金雲敬（三五）方に居る由判明せしかば早速同家に出掛け黄に面會し歸宅方を迫りたるも同人は昨年十一月限りお前さんは見限り今では雲敬と云ふ大切な人があるのだワ鏡を御覽よ鏡をお前の面で女房もないものだと極め附けたるより興祥涙と水洟を一緒に滴らしながら西部署へ蒸通の告訴を提出したりと聞いて見れば氣の毒な

●敍任辭令　左の通り辭令あり
內部書記官　平渡信
同　技師　武石[illegible]
同　技師　橋本岩五郎
同　警視　青木戒三
同　警視　島田文之助

陞敍奏任官二等　警務書記官　竹綱六次郎
內部技師　吉武正八
同　警視　星野能通
同　同　橋本秀平
同　同　渡邊彖夫

陞敍奏任官三等（六月三十日附）　同　市川信清
土地調査局書記官　[illegible]田勇
土地調査局書記官　佐竹義準
總裁官房庶務課長を命す（七月五日附）　津富[illegible]郎

傍若無人な巡查
▽公衆の面前に同僚を罵る

七日正午十二時二十分頃大和町二丁目副統監邸下街路に於て數十人群集し居るより何事ならんと立ち寄り見しに日本人巡查二名韓人巡查一名が高聲を以て何か議論を爲し居り其內容は大和町通信管理局官舍附近に於て石材盜難事

女振り
日の出小學校訓導　矢野みつよ子



產地は福岡縣で明治三十九年十月縣立女子師範學校を卒業し同時に鄕里久喜宮高等小學校の訓導を拜命せられたのであるが當地日の出小學校訓導矢野國太郎君に嫁がれたのは昨春の事で渡韓せられたのは同年の四月中の事である、みつよ子さんは何處となく人馴れ渡い所がある、少々申し惡いが經過をれ話し申さんと理が貫徹らぬ御兩所にはれ氣の毒だが今日に至れる次第を陳述すると國太郎君が福岡師範學校を卒業して鄕里午木小學校に奉職中みつよ子さんが師範學校に在學中から……何んして居た何んしたからと云つて自分の地位職業を省ると危い戀の丸木橋ふみ通はすると云ふことも出來ぬ、其所で恥かしい思ひを久喜宮の校長に打ち明けた、一伍一什を聞いた同校長は似合の縁と早速親許へ交涉の結果縁談は成立したがみつよ子さんは未だ義務年限中の最初の年であつたので契約丈けに止めて居た間三十九年の十月國太郎君は當時の日の出小學校長横山君の所へ雇聘せられて赴任したが花につけ月につけ雨の日風の夕心は懷かしい故鄕の墓はしい今は我妻の上に飛んで居たのだ、夫れと察した久喜宮校長は義務年限の二ヶ年と經過せぬ中みつ子さんに休職を命じた、鴛鴦の番の睦みは斯くして取り計らはれた、渡韓の年の九月今の校に採用せられて目下は尋常四年を擔任して御座る、生徒の氣受けも頗る善い、た年は二十三、昨年十二月玉の如き男子を擧げられたが乳が少ない旁々で此れは乳母に托してある

件の犯人搜査上より竹村（福田の兩巡查間に爭論起りたるものにて竹村は福田に對し貴樣如き若年且つ經驗薄き者に判かるかと馬鹿野郎と罵り福田は無論君より若年なるが事の異想を探りたるに該嫌疑者が所持する石材は日本人の許より貰ひ來り居れば犯人たらざる事判明せりと主張し竹村は如斯事は信ずる能はず韓人なれば打ち撲り引捕へ來よと云ひ福田は如斯き不法な事は出來ぬと云ひ僕は知らぬとて別れしに竹村は韓人巡查に對し撲り付けても引き捕へ來よと命じたるが之を立ち聞きせし日本人某は彼の竹村如き人民を怒鳴る亂暴な巡查は居らぬと惡口を吐き居りしが警官として韓人などは撲り付けよとか同職者を公衆の面前にて罵るのは余り面白からぬ事なれば監督者は注意ありて可なり

●竊盜の氏名詐稱　仁川本町一丁目の花屋旅館に去る四日より東京牛込區臺所町一丁目鈴木峰吉（三五）と僞名して投宿したる怪しき客あるを一昨日仁川署に同行して取調べたるに實は大阪南區木津北島町三丁目寺島峯吉（三〇）と云へる者にて本月初めて京城南大門外製革會社に雇はれ中同じ職工の龜井某より衣類數點を竊取し倘本町三丁目勸工場に於てパナマ帽四個を詐取して逃走し來りしものと判明せしかば取敢ず拘留十日に處し餘罪を取調中なり

●是は的切大違ひ　京城龍洞居朴根用（一六）は七日午前十時四十分頃明治町二丁目辯護士岩田仙宗氏方の飼犬に咬傷せられし旨訴へ出しより警官出張取調しに岩田氏は常々温順なる犬にて他人を咬傷する筈なし必ず何かの間違ならんと申立るも韓人は此犬に相違なき旨主張するに付一應檢診の必要あるに付犬を本署に連れ來る可き旨命じ被害者には夫々消毒を施したりと

●損害三百五十圓　仁川港に於ける一昨日の暴風雨にて難破船十三隻を生じたる由は前號にて報道せしが其後仁川署に於て損害程度を調査せし結果僅かに三百五十圓餘に過ぎざりしと而して同日永宗島に日本漁船一隻漂着せる旨仁川署に屆出でたり

●危險なる二韓人　韓國日本留學生崔基（三六）外一名は注意人物として平素警視廳の注目せる者どもなるが去る一日約二週間滯在の豫定にて相州鎌倉方面に向ひたるを以て警視廳より二日午後神奈川縣警察部に對し嚴重監視方を依賴せりと云ふ

●縊死者氏名不詳　龍山八聯隊下旭川尻に在る韓人の物置小屋にて六日午後七時頃年頃四十二三の職工風の日本人縊死を遂げ居たるを發見せしが死後十時間位を經過したるらしきも姓名不詳に付民團にて假埋葬に附したり

●娼妓から雜貨屋　新町遊廓第一樓本店女郎福壽事竹井つね（二二）は雜貨商笑岩雄より前借金二百圓を支拂ひ身受されて七日限り泥足を洗ひ八日より雜貨屋の內儀さんに

●列車中に氷　七月十一日より釜山西大門間急行列車及釜山新義州間旅客列車に飲料氷を備へ旅客の飲用に供す

●廢業　仁川日進樓の三勝は廓內の古顔なりしが一昨日廢業したりといふ

●檢黴　仁川花町の韓妓廿六名に對し六日健康診斷を行ひしに有毒者三名

目と耳

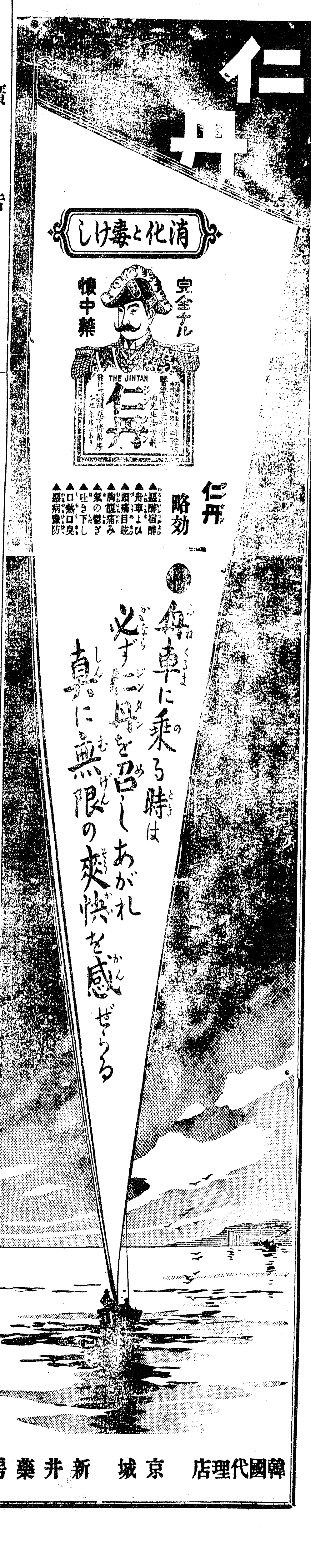
▲歌舞伎座　五日夜の暴風雨に續いて六日は猛雨を見たるより同夜休場したる如雲一座八日夜の代り藝題は左の如し因に以後は晴雨を不論開演すと　倉橋傳助二席親子對面迄

▲壽座　八日の代り番組左の如し　金明竹（金平）ゆび寫し繪獅子の曲（金遊齋）常盤津並に浮世ぶし（小妻）壽限無（市馬）元丈（金勝）音曲手れどり（金登喜）立ちきり（花圓遊）曲藝いろ〳〵（龜治郎）尺八曲俗曲種々（花堂）粟餅（金馬）大切新作喜劇古鄕錦

▲浪花館　八日の代藝題は左の如し　宮本左門之助（吉川靜奴女）荒尾秀丸（浪花綠朝）掛川師定柳生朝比奈相生（吉田松葉）筑前騷動田宮重吉　鐵中（吉川秀奴女）米澤師定金子春太郎（岡田伊之丸）建久美談曾我物語義士本傳通し（吉川秀廣）毎夜兩席長講

●微笑會　八日（金曜日）午後五時より初音町二丁目臨濟寺に於て岡山太嶺師の例會提唱あり一般人士の參聽隨意

今日の運勢
七月八日　舊六月朔日　二黑赤口　甲戌平
△一白　衰運日なり新事見合せの事向賣買取引貸借控へ目の事
△二黑　保證受印を禁ず賭博を失ふ事あり酒色の害を戒しむ
△三碧　職務の失体を生じ易し旅行移轉開店業に凶
△四綠　取引金品授受證券の事故障起り易し新事旅行見合せの事
△五黃　保證世話事を禁ず家庭上の事煩累あり
△六白　快欣の日大抵吉但し疾病衞生に注意の事
△七赤　利得なき日なり婚約雇入れ入學門尤も吉
△八白　移轉模樣方針替改革の事吉部下從者の事煩累あり
△九紫　得意の日大抵吉殊に婚談取組に尤も妙


仁丹
消化と毒けし
完全な 懐中薬
THE JINTAN
仁丹
仁丹 略効
▲悪酔宿酔 ▲舟車よひ ▲頭痛目眩 ▲胸腹痛み ▲氣の鬱ぎ ▲吐き下し ▲口熱口臭 ▲悪病豫防
舩車に乗る時は必ず仁丹を召しあがれ 眞に無限の爽快を感ぜらる
韓國代理店 京城 新井薬房